



# ロスガラOB会報

2004年8月発行  
第48号

発行：東工大ロス・ガラチエーロスOB会 <http://losgob.at.infoseek.co.jp/>

## 祝 第3回 LGOB 大演奏会成功!!

～ 詳細は2～5面にて ～

### OB 会長挨拶

OB 会長 川端 淳一(S54 入学)

こんにちは、ロスガラ OB 会長の川端です。6月13日に六本木で開催されました「第3回 LGOB 大演奏会」ですが、実行委員長の高梨さんのもと、委員の皆さんの大変な努力と、出演バンドの方々の素晴らしい演奏とで、大成功で終わらせることが出来ました。関係者の皆さん、本当にお疲れ様&ありがとうございました。惜しくも今回聞くことが出来なかった方々は、当日の写真などロスガラ OB 会ホームページからたどって見る事が出来ますので、こちらでお楽しみください。また、ぜひ次回の開催を期待して頂き、その際には足をお運び頂いて、ロスガラ三昧?の一日を経験していただければ、と思います。

さて、OB 会の幹事メンバーなのですが、昨年12月のOB 総会にて半数の2名が任期満了で交代されました。交代で退いた小林さん・小池さん、お疲れ様でした。新規加入の伊藤さん・松岡さん、すでに目一杯頑張っており今さらなのですが、どうぞよろしくお祈いします!

最後になりますが、毎年恒例「山野ビッグバンドジャズコンテスト」がやってきます。今年の現役もまた本当に素晴らしいです!地球温暖化のせいなのか、今年は酷暑が続いておりますが、こういう時こそ現役の熱い熱い演奏を聞いて、暑さを味方につけてしましましょう!

### 新幹事挨拶

伊藤 大(H05 入学)

OB になってからというもの、ラテン音楽からは遠く離れファンク、ロック、(最近はいわゆる J-POP)を嗜みつつあり、ロスガラらしさと言えばお酒の飲み方と飲ませ方くらいだった今日この頃でしたが、次期幹事のご指名を受け現役の方の定演に足を運んだあの日の感動は忘れられません。若手にはこんな凄い世代が育っていたのか!と驚愕し、涙すら流した(!?)訳ですが、そんな人達がこれから続々と OB 会の仲間入りを果たすとなると胸躍らさざるを得ません。

先日の第3回 OB 大演奏会は幹事初仕事となりましたが、やはり各バンドすばらしい演奏を聴かせてくれました。今後とも OB 会を通じた音楽その他における交流のお手伝いをさせて頂き、皆様のロスガラ人生の充実のお役に立てればと思います。どうぞよろしくお祈いします。

松岡 慶(H04 入学)

引退して以来、「ロスガラ外」のバンドに参加する機会が何かとありますが、やはり業界とは狭いものです。練習後に杯を交わしていると、「学生時代はどちらに?」「実はロスガラというところに・・・」「あ、ロスガラでしたか!」ということが結構あります。問題は、その次の一言です。

以前は、「じゃあお酒飲めるでしょ?」というのがダントツ首位で、「仮装何やったの?」が次点、といったところでした。しかしここ数年は、「すごいとこに居たんだね～」とか「どんな練習やってたの?」とか、自分が現役だった頃には全く聞かれなかった言葉が飛び出してきました。そんな時に近年の現役の躍進ぶりを改めて意識してうれしくなり、また自分がロスガラ OB であることにちょっとばかりの誇りを感じます。

これから2年間、そういう気持ちを大事にしながら、幹事として皆さんのお役に立てればと思います。宜しくお願いします。

ということで、2004年度のOB 会幹事は、会長の川端さん、昨年から継続の百瀬さん・浅見さんに、伊藤さん・松岡を加えた5人体制です。宜しくお願いします。



前で演奏するのは今回が初めてで、メンバー同大いに楽しませていただきました。やっぱりライブは楽しいねと改めて認識した次第でした。

メンバーの大半は非ロスガラ OB などですが（ロスガラ OB は 2 名）、工大祭やロスガラ定演に出演したことのある人がいたり、6 年前の第 1 回大演奏会に出演した人がいたり、意外とロスガラに縁のあるメンバーが多いです。ただ、なにぶん売れっ子が多いもので、なかなかスケジュールが合わず、ひじょーにのんびりしたペースで活動しています。

当日の MC でもちょっと言っていました、バンド名の「cacerola（カセロラ）」はスペイン語で鍋、「música（ムシカ）」は音楽ということで、いろんな音や音楽を鍋に放り込んで楽しもうよというコンセプトのバンドです。今回は全曲コピーものでお送りしましたが、オリジナルにも挑戦しようなどという話もありますので、そのうち皆様に発表する機会があるかもしれません。また、詳細は未定ですが、10 月頃にライブを予定していますので、よかったですら聴きに来てくださいませ。

代表：浅見 知弘（H04 入学 Pf）



みなさま、こんにちは。この度は出演の機会を頂きましてありがとうございました。演奏会の準備段階から奔走された実行委員会の諸先輩方はじめとするみなさま、深く感謝いたします。

今回はその前のライブから半年近いブランクを挟んでの出演だったので、練習の段階から曲の仕上がりが間に合うかどうか、また当日の思わぬアクシデントもあり（ありがとうございました）、きちんとステージを務められるのか非常に不安ではありましたが、無事に演奏を終えることが出来て、ほっとしております。多くのおみなさんにお聴き頂けて、うれしく思います。前回出演した時にも感じたことなのですが、どのバンドも非常に個性があって、非常に聴き応えがありました。さすがに毎年やろうとなるとなかなか難しいかもしれませんが、数年に 1 度のこういう機会は、いい意味での刺激を持ち合う意味でも、非常に大切なのではないかなと思いました。

今後の活動予定はまだ決まっておりませんが、またゆっくりと曲をためて、練習を積み重ねて、ライブという形でみなさんの前に一挙にお見せしたいと思います。

最後になりましたが、素晴らしい演奏を聴かせて下さった現役のみなさん、本当に感動しました。リサイタルまでの残り半年、頑張って下さい！健闘を祈ります。

代表：皆川 祐輔（H07 入学 Ts）



今回もこのような演奏の場を頂き、ありがとうございます。いつもながら、プレイヤーといい、実行委員の方々といい、ロスガラファミリーのパワーには参っております。

我々の演奏としては、直前のリハまで通るかどうかがヒヤヒヤのアレンジの曲もありましたが、結果、おかげさまで気持ち良く演奏できてよかったです。

今年度中に、この givabond のメンバーでまた演奏したいと思っています。

代表：儀保 努（H06 立教 NSH Ba）



どーもー！今回は 3 回目の出場ということで会場のライトもいつもより多めに回していただき、ありがとうございました。当日のビデオを見返してもなるほど、譜面が見にくそう。（誰ですか、# や b を落としたのをそのせいにしているのは...）そうそう、出演バンド中でも年齢層が高く日本経済を担うバンドとして紹介された割には、参加費は皆と同じ割り勘で申し訳ありません。

は、おいといて、自分達としては楽しく演奏できたともに、若い人達のきっちり練習をつんだ演奏にも刺激を受けたよい Live でした。やっぱり人前の演奏は楽しい！

ということで、東京ガラチヨス Live を来たる 11 月 27 日（土）昼に赤坂ビーフラットにて開催します。演歌と歌謡曲や踊りはありませんが、Big Band の Jazz と Latin が好きな方はどうぞお越しください。

代表：高梨 伸彰（S52 入学 Tb）



こんにちは。大東京をとめ塾です。まず先日はあのような楽しい演奏会で演奏させていただけたことを

感謝いたします。色々な演奏を聞いて本当に楽しい一日でした。

さて私たちは前回に引き続き乾杯後一番手というありがたい順番をいただき、その順番にそのような企画を練ることに必死でしたがいかがだったでしょうか？実はあの和田ア子は大いぶ前から温めていたもので今回ようやく日の目を見ることができました。当の和田嬢もみなさまからの御感想を心待ちにしております。また私達の今後のためにも御感想アドバイス等掲示板へいただけましたら幸いです。私たちの今後の予定...は未定ですが次は秋ごろ出没するかもしれません。

最後にすばらしい演奏会を企画運営してくださった実行委員の方々、本当にありがとうございました。また2年後を楽しみにしています。

代表：樋口 奈美 (H09 入学 Tb)

1：最近映画でも偽物がでてきましたがモノホンのをとめのHPは <http://www.asahi-net.or.jp/~ee5k-ttm/> です。

2：をとめではドラム、ラッパ大募集中です！われこそは、という方御一報下さい！スクールメイツその他にもなれますよ！



いやはや、ついにやってしまいました。フルバン演奏者共通の夢、70年代歌謡曲のバックバンドをやってみたい！と企画し始めたところ、蓋を開ければコミックバンド。あ、バンド名からじゃ何を演奏したのか全く想像がつかない方のためにご説明しますと、伝説の？生放送コント番組で日本を沸かせたドリフのネタの数々とクレイジーキャッツメドレーを題材に、下はOBになりたてホヤホヤの若手から上は四十を過ぎた大OBまでの精鋭が集まりまして、熟練の技やロスガラ風にアレンジした様々なネタをご披露したのであります。

折しも今年ドリフターズ結成40周年の節目、絶好のタイミングでした。8時だヨ！全員集合のDVDは我々バンドメンバーが一斉に買い占めたために品薄になったとかならなかつたとか。

思い起こせば三軒茶屋の居酒屋「大将」で酒の肴にドリフを語り合ったのがきっかけでした。本気でコミックバンドをやることになってからは、夜な夜な渋谷マークシティ横の韓国居酒屋に集合し、マッコリをがぶ飲みしてへべれけになりながらも入念なネタ打ち合わせをしたのでした。それにしてもくだらないことにはけるロスガラOBの集聚力、結束力ですばらしいですね。結局、総勢30名を超える出演者による大ステージになったのでした。皆様ありがとうございました。

今回、特筆すべきはステージを前半、後半に分けて、

本物の全員集合さながら、間にCMを入れたことです。こんな前代未聞なイベントは、ロスガラでなければ実現しないでしょうね。映像編集、アテレコ、CGを駆使してCM作成に携わった担当者の皆さんに感謝いたします。

実際に演じたネタは次の通り。ドリフ大爆笑、スクールメイツ、早口ことば、ちょっとだけよ、青い山脈、OB会費CM、モロ使われるCM、アニメソング振付CM、宴会芸CM、ヒゲダンス、クレイジーキャッツメドレー、ピバノン。これを読んで是非映像を見てみたいと思った方はOB演奏会実行委員会またはOB会幹事会までお問い合わせ下さい。

最後に、当バンドの演奏と一緒に盛り上げて楽しんでくれたお客様の皆様、どうもありがとうございました。そしてご意見、ご感想など、どしどしお寄せ下さい。その一言が次のネタになりますよ！次回乞う御期待！

代表：伊藤 大 (H05 入学 Ts)

### 実行委員長・実行委員のコメント紹介

実行委員長：高梨 伸彰 (S52 入学 Tb)

大演奏会に参加された方々、お疲れ様でした。毎回のことながら、音楽的にもステージ的にも目一杯楽しめた一日でした。平日にも時間をとって準備を進めていただいた実行委員とご家族、当日7時間近くは渡って円滑かつ楽しく司会進行を務めていただいた森田さんにも感謝します。



LGOB大演奏会は、工大祭のロスガラ喫茶でOBの皆さんがいろんなバンドを組んで次々出ているのを見て、こりゃいける、と始めたものです。

今回はもう3回目となりました。前回からは2年しか空いてませんでしたが、いやー、ネタは尽きないものですね。複数バンド掛け持ちのPlayerも多く、各バンドとも奇跡的なスケジュール調整でリハーサルを組み、本番に臨んだ模様です。リハーサルといえば、第一回の演奏会の頃は、大岡山、自由が丘の飲み屋で練習を終わった複数バンドの出演者達が出てきて思わず盛り上がったこともありましたが。最近練習場もいろいろな場所に広がってそういった光景も見られなくなり、ロスガラOBの皆さんの活動の広がりを感じます。

さて、残念ながら参加されなかった方でご希望の方は、DVD、ビデオの用意が整いましたので、OB会ホームページ内「ロスガラOB大演奏会」のページ(下記)をご参照の上お申し込みください。もちろん、参加された方ももう一度あの感動を！という方もどうぞ。なお、同ページではgivabondリーダの儀保氏撮影による当日の写真を公開しておりますのでこちらでもぜひご覧下さい。

ロスガラOB大演奏会のページへは、OB会ホームページ

<http://losgob.at.infoseek.co.jp/>

から「ロスガラOB大演奏会」をクリックして下さい。

司会 : 森田 乾一郎 (S55 入学 As)

またまた今回も当日ぶっつけ本番という感じで司会を担当させてもらいました。最近、あまり司会らしい司会をしていなかったのでも自分的にはちょっとミスもあって、すみませんでした。

会のほうは、進行も時間通りに進み、バラエティに富んだ内容で、純粹にお客さんとして楽しませていただきました。大掛かりな仕掛けとかいろいろありましたが、実行委員の皆様の努力に感謝です。

次回は2年後?また楽しみにしています。

実行委員 : 肥田野 正輝 (H04 入学 Tp)

前回に引き続き AV 関係を担当させていただきました。実行委員長の高梨さんのご協力により、AV 機材は年々グレードアップし、私一人の作業では手が回らなくなって来まして直前に多数のアシスタントをお願いさせていただきました。その全員の名前をここで挙げることはスペースの関係上出来ませんが、ご協力を頂いた皆さん本当にありがとうございました。また、ペコちゃんずでご用意頂いたせっかくの素晴らしい映像を機材の関係で生かすことが出来ず申し訳ありませんでした。

個人的には「東京ガラチヨス」と「LG Crazydrif All Stars」に参加させていただきましたが、本当に楽しませていただきました。昔から変なバンドはいろいろやったことはありましたが、今度の Crazydrif は最も高度な演出を必要とし本当に難しかったです。聴衆としても、各バンドのレベルたるや信じられないものがありました。特に若者バンドの演奏には脱帽です。と素直に認めつつも、元来の負けず嫌いの血がふつふつと沸き起こっております。

現役及び若者の諸君、君たちは意識が無意識かは別として確実に周囲に素晴らしい「ウェーブ」を起こしていますよ。昔は OB が現役に刺激をなどと考えていましたがとんでもない!今となっては君たちに刺激を受けている OB は決して私だけではないはず。これからも良きライバルであれ・・・。

実行委員 : 吉田 伸也 (H07 入学 Ba)

今回、引退後初めて、OB 関連行事のお手伝いをさせて頂きました。その感想は、「やはり LGOB は凄い!」の一言に尽きます。皆さん、社会人として日本経済の発展に日々勤しむことに忙しい中でさえ、妥協を許さない準備・仕掛け・演奏、そして演出に全力を傾ける...。このような姿勢が、私がロスガラへ入部した9年前から、なんら変わることなく続いている(むしろエスカレート?)ことは、ロスガラ OB 会にとっての勲章であると思います。今回、その勲章に非常に近いところでお手伝いできて非常に光栄でした。ありがとうございました。

この他、受付担当実行委員の野口正樹君 (H12 入学 Tb) を始めとして、当日は多くの若手 OB に協力頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



## ロス・ガラチェロス 現役活動報告



バンドマスター : 田中 耕一

こんにちは。今期のバンドマスターを務めさせていただきます。田中耕一と申します。先日の OB 大演奏会では大変お世話になりました。演奏の機会をいただけるばかりでなく、さらには OB・OG の方々のすばらしい演奏まで聞けて、メンバー全員、本当に楽しい時間を過ごせたことと思います。ありがとうございました。

ロスガラに入ってから2年という時間が経ち、気がつけばもう最後の一年。早いものです。さて、今年のロス・ガラチェロスの活動報告ということで、2004 年前期のイベントを簡単に振り返ってみようかと思います。

4/7,8 新歓 : 今年はピラモカラーになり、新入生獲得に向けて気合十分で迎えた新歓オリ。今年も例年通り、講堂と野外の2ステージでの演奏でした。講堂では、恒例(?)の全員スーツで「GoneCity」を演奏しました。ロスガラらしい勢いのある演奏で駆け抜けてまいりました。

5/1~4 春合宿 : 今年の春合宿は「ホテルイタクラ」というところで行われました。まだとけ残る雪に、ついついはしゃいでしまうメンバー達。Jr.のお披露目では OB、E 年をうならせるようなスゴいプレイがあちこちで続出し、あらためて後輩の成長ぶりに驚かされる OB、E 年でありました。

5/29 LSBCG ~ 専ら四工大 ~ : 今年から四工大というイベントが大きく進化しました。長らくお休みしていた日工大が復活、さらに専修大学が新しく仲間入り、会場もヤクルトから小岩アーバンプラザへ。場所も時間もガラッと変わって多少の苦労もありましたが、ステージではメンバー一同、楽しく演奏できたと思います。他の大学も上手なバンドばかりで、よい刺激になりました。

5/30 五月祭 : 今年もお声をかけていただき、東大の五月祭へ行ってきました。去年はちょっとだけ狭かった教室も元通りに、よくしゃべる D 年浅井の MC に笑いをこらえているメンバーも・・・。

6/13 ロスガラ OB 大演奏会 : トリとして出演させていただき、メンバー一同楽しく演奏できました。OB、OG の皆様のバンドの演奏では、超絶なソロを繰り出す先輩から、ヒゲダンスをなされる先輩まで・・・本当に楽しい一日でした。

6/20 Dos Vientos : 日大リズムとのジョイントライブ。タイトルは「七転八倒九死に二生スペシャ

ル」(ちなみに八回目です)。ロスガラリズムも同じラテンバンドということで、ここぞとばかりに、ステージも打ち上げも、楽しんでまいりました。これからもいいラテン仲間であってほしいですね。

6/26 古木さん(旧姓:清水さん)追悼演奏 : ロスガラ創始者の一人としてご活躍なされた古木さん(旧姓:清水さん)が、まことに残念なことに2004年5月に他界されました。古木さんの生前からのお言葉「Mambo No.5で派手に送り出してくれ」この言葉を実現させるべく、とにかく派手に、とにかく元気に、演奏してまいりました。ロスガラ創設時代のOBの方々ともお話をさせていただき、ロスガラというバンドの歴史を知ることが出来、感慨深いものがありました。う~む。

6/27 7大学もとなかよしコンサート : 例年では野外で行われていた7大ですが、今年は場所を変えて光が丘のIMAホールで行われました。ロスガラでは今年の実験曲である「Frontiers」がステージでは初めての演奏となりました。まだまだ課題も多いですが、山野へ向けて、気合いの入った良いステージでした。山野も入賞目指して頑張ります!

そして、現在は山野Big Band Jazz Contestへ向けて練習をしています。今年も去年と同じ「府中の森芸術劇場」にて、8月21日22日に行われます。今年のロスガラの出演は、8月22日の11番目、14:45~です。ぜひとも、応援よろしくお願ひいたします。

また、今後の詳しい情報は下記のHPに随時アップしておりますので、そちらの方もご覧ください。それでは最後になりましたが、今後も現役ロス・ガラチェロスをどうぞよろしくお願ひいたします。

\* Los Guaracheros official web site  
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/4011/>

### 追悼:古木(旧姓:清水)汎さん

小林右治(S43入学Drums)

LGの高位OBである、古木(旧姓清水)汎さんが5月9日に逝去されました。まだ50代でした。私にとっての思い出はみな清水さん時代のことなので、ここでは清水さんと呼ばせていただきます。

清水さんは40年入学で私が入部したときには学部4年でした。ラテン的風貌と、自家用車に乗りますかっこよさで、他のOBとは違った雰囲気を見せていました。パートはトランペットで、ステージではあがり症のためかまともな音が出ていないことが多かったですが、清水さんでもあがるのか、と変に感動したことを覚えています。

清水さんはフルバンドになったばかりのロスガラを当時のトップバンドであった見砂直照と東京キューバンボーイズに結び



シニアOB会(2001年11月)に出席された当時の清水さん

つけてくださった方で、その経緯は省きますが、清水さんはその後ロスガラと見砂さんはじめキューバン



清水さんお別れ会(6/26 横浜)にて

のメンバーとの親交を深め、そのすばらしい関係を代々後輩に受け継ぐようにして下さいました。我々もよく清水さんに連れられて見砂さんのご自宅や、キューバンの仕事場に連れていってもらい、キューバンとの親交を受け継ぐことができました。ロスガラ第1回定期演奏会でキューバンを招いたのも清水さんのマネージと伺っており、我々はそれを知って我々が3年になる第4回定演ではまた、キューバンを招いて今度は本格的な共演をしようと計画し、それを実現しました。お金がない我々が3年掛かりでキューバン団員のご子息の家庭教師や、夏休み中のバンドボーイなど労働奉仕を続け、わずか5万円での出演依頼を見砂さんが快諾してくれたのも清水さんが築いてくれた関係のおかげでした。

清水さんは卒業後もキューバンボーイズとの親交を継続し最近ではキューバンOBとして認知されているとも伺いました。我々も卒業後、清水さんと一緒にロスガラOBとキューバンOBとの親交をずっと継続していました。

6月26日に行われた清水さんのお別れ会では現役のロスガラメンバーが清水さんの好きだった「マンボNo.5」で送ってくれました。現役のメンバーにとっては生まれる前の話であり、そのような歴史があるということは初めて聞いたようでした。若いOBにとっても同様と思いますが、清水さんの努力の上に我々がいるということにちょっと思いをはせていただけたら、と思います。

天国でまた見砂さんと一緒に談笑しているであろう清水さんに後輩として本当に感謝します。ありがとうございました。



お別れ会にて「Mambo No. 5」を熱演する現役バンド

清水さんを偲んで =情熱とバイタリティあふれる人=

鍋田治 (S40 入学 Tb)

コンボからフルバンドへ : 昭和 40 年、当時ロスガラを結成していた部員は 8 人。ギター、フルート、クラリネット、パーカッションのコンボ編成でソラメンテウナベスやキサス等のバラード調のラテンバンドに一挙に 10 人の新入部員が入部しました。演奏経験があったのは、清水、渋谷くらいで、最初から楽器をもっていたのは清水のトランペットくらいだったと思います。思い切り音が出せ、皆が演奏に参加できるフルバンドに対する情熱が、故勝亦さん、清水にあり、バンド編成のための楽器集めが始まりました。清水は方向が決まればしゃにむに突っ走るタイプです。楽器資金集めのダンパの企画・実施や、ヤマハ渋谷店に楽器・楽譜の調達するなど積極的に行動していました。このような清水の活躍の結果、完全なフルバンド体制が確立できました。

東京キューバンボーイズ 見砂直照さんとの出会い : 当時ヤマハは楽器販売のほか、学生の音楽振興も行っており担当の青木さんに中古の楽器探しやフルバンドの楽譜調達をお願いをしているうち、東京キューバンボーイズの見砂直照さんが学生バンドの面倒を見てくださるという話がありました。これを千載一遇のチャンスと捕らえた清水は持ち前の積極性とラテンに対する情熱から、キューバンの楽譜をコピーさせてもらったり、演奏会・テレビ出演の袖で演奏を見せてもらったりし、ロスガラのフルバンドとしてレパートリーや演奏技術向上を図りました。また後輩の伊藤さんを見砂さんご子息の家庭教師として紹介するなどプライベートでも繋がりを作り、以降長年にわたる東京キューバンとの関係を生み出しました。

第一回定期演奏会開催(1967 年 11 月:都市センターホール) : フルバンドとしてその後、部員もレパートリーも大幅に増え、定期練習、春・夏の合宿練習やイベントでの演奏活動等を重ねてきた結果、工大祭の演奏会だけでなくロスガラ独自で演奏会をやるうという声が上がってきました。これもお祭り好きの清水の提案だったと思いますが、どうせやるなら東京キューバンにも出演してもらおうということで、清水が自ら見砂さんをお願いに行き、今考えると無



昭和 42 年夏合宿での一コマ。中央、白いシャツ姿でトランペットを持っているのが若かりし頃の清水さん。

謀ともいえるキューバンとの競演の約束まで取り付け、昭和 42 年 11 月に第一回定期演奏会を都市センターホールで開催することが出来ました。

このように、今あるロスガラの基礎を当時数人で築いた清水の功績は偉大なものがあり、残した成果はロスガラ子々孫々まで受け継がれてゆくものと思います。

この情熱とバイタリティで何事にも取り組む姿勢は、その後の彼の人生すべてに貫かれたように思います。今その恩恵を受けた多くの人々の感謝を込め心よりご冥福をお祈りいたします。

### [シリーズ]ロスガラの妻たち

徳尾 健一郎 さん(H05 入学)の妻、  
宏美さんの場合...

はじめまして。昨年 7 月 20 日に徳尾健一郎と結婚し、晴れてロス妻の仲間入りをしました徳尾宏美と申します。

二次会では、ロスガラ OB 有志の方々の素晴らしい演奏で大いに盛り上げていただき、大変ありがとうございました。私は中学生時代に吹奏楽での演奏経験はあるの



ですが、ビッグバンドに触れたのはこの時が初めてだったのでとても刺激的で、そして感動的でした。

あれから一年、付き合い始めてから約三年が経ちました。付き合い始めた当初は、主人の友人からよく「何かおもしろいことやらかしてない?」と聞かれたものでした。その頃はまだピンとこなくて、「どんなことだろう?」と思っていたのですが、月日が経ち徐々に判明していきました。例えば、夜中に日本語ではないどこかの国の言葉で寝言を言ったり、先日の浅見さんご夫妻の結婚記念ライブの開始時刻を一時間間違えたり(とても素晴らしいライブだったので最初から拝見したかったのに...)とたまにドキッとするようなことをしてくれます。まあ、これが不思議と慣れてしまえば笑い話の一つに過ぎず、退屈しません。今では、私もすっかりフォローが上手くなりました。

そんな感じで楽しく過ごす私たちは今、茨城県ひたちなか市(県庁所在地水戸の隣)でどっぷりと田舎につかった生活をしております。家の近所に広がる水田の風景や、遠くに見える山々など、都会から来た人には「田舎だな~」とインパクト十分な場所ですが、町田市近郊の兼業農家で育った私にとっては

馴染みある風景で抵抗無く快適に過ごしています。週末には、車で一時間圏内にあるちょっとした観光スポットを巡ったりして楽しんでいます。「田舎暮らし最高！！もう都会には住めません」といったところでしょうか・・・。

とは言っても、実家は都内にありますので何かイベントがある時には参加したいと思っております。どうぞお声をかけて下さい。これからも、夫健一郎共々よろしくお願い致します。

#### OB 会からのお知らせ

#### 編集後記

今号は古木（清水）さんの訃報、大演奏会、現役の活躍と、ロスガラの長い歴史を想起させる紙面になりました。この夏、現役の皆さんがどんな歴史を築いてゆくのか・・・陰ながら期待しつつ涼しい季節を待ちたいと思います（松岡）。